

地域とのつながりを大切に！  
姉崎高校生が企画した  
カフェ青葉ノアール

オープンフェスティバル開催!!



▲小出市長の挨拶 ▲加瀬校長の挨拶

2019年9月青葉台地区全世帯に行ったアンケート回収分2000件をもとに、課題抽出を行う姉崎高校生徒会のWS(ワークシート)で出た姉崎特産のイチジクを使ったカフェのアイデアが実現し、完成した店舗の隣にある空地でオープンフェスティバルが開催されました。11月23日(祝)午前10時小出市長をお迎えし、協議会からは吉成会長、田中39PJマネージャーが出席して

セレモニーが行われました。この活動は、姉崎高校生徒会と協議会まちづくり委員会39PJが一体となって進めてきたものですが、加瀬校長は挨拶の中で、今後も学校方針として地域とのつながりを重視していくと話されました。

また、初代店長の高野君からは、青葉ノアールを紹介して地域の人たちとの交流は社会に出てきつと役立つ、この活動は今後も生徒会で引き継いで行く強いメッセージがありました。

この後、メインイベントの吹奏楽部による演奏が行われ、ディズニーメロディーなどアンコールを含めて6曲が披露されました。高野君を含め部員は8名ですが、みんな堂々とした演奏で200名を超える来場者の皆様も楽しんで過ごされたものと思います。演奏終了後は、お待ちかねのイチジクスコーン、ぜんざいの販売が店頭で行われ長蛇の列。好天にめぐまれ、会場に設けられたテーブル席で皆さんに召し上がっていただきました。

分野：高齢になっても永く住み続けられる街づくり  
課題：福祉タウン構想

電動カートの試乗会報告

令和3年10月6日(水)みどりヶ丘集会所、10月15日(金)青葉台自治会館でいずれも13時~16時の間、青葉台協議会と青葉台さわやかネットワーク主催、(株)セリオ協賛で、電動カートの試乗会が開催されました。

この試乗会では、自力での移動に支障・不安のある人も、出来る限り、買い物や病院へ一人で行的ための移動手段を紹介し、試乗体験をして頂きました。参加者は、6日が24名、15日が31名で、試乗された方から、便利の良さ、乗り心地の良さを実感され、今後運転免許の返納、廃車時に検討していきたいとの前向きな意見を頂き、好評裏に終了しました。(樋口)



▲青葉台自治会館で開催された電動カート試乗会の風景

分野：美しい街づくり  
課題：空家・空地の有効活用(管理センターの開設)

空家バンク登録大説明会開催

大説明会が青小・姉崎東中体育館で4回(11月3回、12月1回)行われ、全町会164名が参加しました。10年後には、何も対策を取らないと青葉台は空家が700戸にも増えゴーストタウンになってしまいます。このためセンターでは、住宅の所有者がお住まいのうちに、次に所有者として相続される人との信頼関係を構築し空家になった後、不動産や建築会社、弁護士、行政書士などと連携し早くたたむ措置を講じていきます。センターに登録すると、認知症や介護に備えて、相続、遺言、家族信託など空家になる前に何をやっておけばいいか相談できます。判断能力のあるうちに、相続で残された家族に負担をかけないためには専門家に相談して遺言を、また認知症に備えて、家族信託や任意後見人の用意をおきましょう。年末年始ご家族が揃う機会に是非話し合ってみてください。(藪木)

- 空家登録：年内12月13~24日、年明け1月11日~
- 登録料200円：青葉ノアール店舗内にて受付  
(青葉台2-7-14)

日青葉台39プロジェクト 分野:犯罪や災害に強い街づくり 課題:地区防災計画

## 地区防災計画説明会が開催

11月21日(日)自治会館集會室にて地区防災計画説明会が行なわれました。

青葉台・畑木地区全町会長、防災担当が出席し、防災サポートチームより、自助の推進として「**備蓄の推進、簡易トイレの普及、家具などの転倒防止対策の推進、スマートフォン等による情報収集手段の普及、耐震診断のきっかけづくりの推進、感震ブレーカーの設置普及、町会内の危険個所の周知の推進**」について説明がありました。また、共助の推進として「**合同防災訓練の頻度及び内容の見直し、町会内防災訓練の見直し、一時避難場所の役割の検討、避難場所開設・運営マニュアル等の見直し、地域のライフラインに関する知識の普及**」について説明があり、有意義な説明会でした。今後、各町会内での住民説明が行われ、**自助対策の推進、共助に関する防災訓練の内容拡大、見直し等**が次年度計画に反映されていきます。(池田)

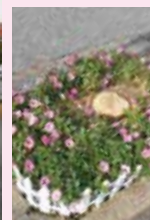
日青葉台39プロジェクト 分野:美しい街づくり 課題:ohanaいっぱい活動

## ohanaいっぱい活動報告

4月から始まったohanaいっぱい活動も、もうすぐ冬を迎え、春夏の花から秋冬の花へと10月下旬から11月下旬にかけて苗が植え替えられました。また、**市による一部の銀杏の木の伐採が終わり、交差点の見通しが良くなりました**。花壇の花も一層引き立つことでしょう。これからはパンジー、ビオラ、サクラソウ、クリサンセマム、デージー、キンセンカ等々、**寒さに強い花が町民の皆様の目を楽しませてくれるでしょう**。ohanaいっぱい活動チームの皆さま育苗やメンテナンスに日々本当にご苦労様です。(石原)



伐採された  
▼銀杏の木の跡



### トピックス 第19回青葉睦会作品展

## 大盛況芸術の秋! 青葉睦会作品展

二年ぶりの開催となった青葉睦会の第19回作品展が、11月7日(日)に青葉台自治会館で行われました。今年は、**出展する対象範囲を青葉台全町会に広げ、さらに会場を2階にまで拡大**して青小児童クラブの64点、姉崎高校生の21点が展示され、一般の作品も含めると**出展数が全169点**にも及びました。

披露された作品は、どれも力作で、またその技法を知ることさらに奥深さと技巧を感じられます。この日は、187名の方々が来場され、芸術の秋を堪能されました。(嶋崎)



▲会員作品の展示された集會室風景



▲青小児童クラブ作品

▲姉崎高校作品

日青葉台39プロジェクト 分野:活気ある街づくり 課題:盆踊りの活性化

## 2022青葉台盆踊り大会に向けて、サポートチームが活動スタート。

新型コロナウイルス沈静化の兆しを感じられるようになり、いよいよ盆踊り大会の開催の期待も高まります。しばらくの間、コロナ休会していたメンバー会議がこの日行われました。この会議では、昨年度から検討されてきた**新しい盆踊りの基本計画**をおさらいし、5つのチームにより、担当町会への繋ぎ込みのための具体的な手順書の作成について、意識合わせが行われました(実施項目、役割分担、スケジュールの共有化など)。今後は、**手順書の完成と楽しい盆踊り大会の実現を目指し本格活動に入ります**。(嶋崎)



▲10月30日に開催された全体会議の様子

